

神経科学に強い脳神経外科専門医育成を目指します

プログラムの概要

- ◆ 全人的医療としての診断、検査、治療にわたる臨床研修を通じて、幅広く総合的な脳神経外科臨床能力を身につけ、日本脳神経外科学会専門医資格を得ることを目標としています。
- ◆ 今日の医学治療は科学的検証に基づいたevidence based medicineであり、その理解と実践には、科学的な洞察力が備わっていなければなりません。臨床研修と併せて、神経科学の基礎的あるいは臨床的研究を通して科学的思考法を修得し、学位を取得することも大切です。
- ◆ 初期臨床研修を終了した医師を対象として2つのプログラムがあります。
 1. 臨床専門プログラム : 専門医取得を目標として臨床研修に専念するプログラムです。
 2. 大学院進学プログラム : 臨床研修に加えて研究を行い専門医と学位の両方を取得します。

いずれもコース終了後にサブスペシャリティーとしての専門領域を目指します。

アピールポイント

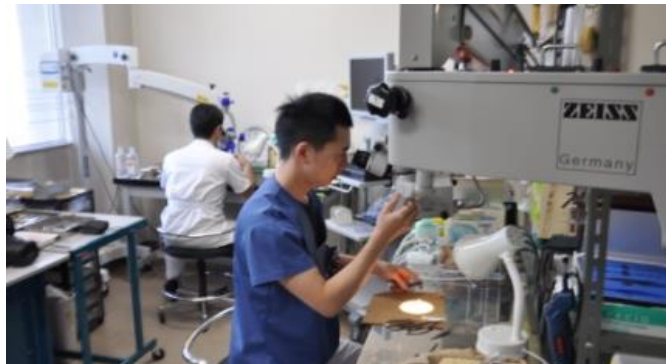
- ◆ 後期研修の4年間で脳神経外科専門医を取得できます。
- ◆ 専門医取得後のサブスペシャリティーとして、脳卒中学会専門医、脳卒中の外科技術認定医、脳神経血管内治療専門医、神経内視鏡技術認定医、脊髄外科学会認定医、頭痛学会専門医などを目指せます。
- ◆ common diseaseとしての脳神経外科疾患に加えて、特殊な症例や難易度の高い治療法に精通できます。
- ◆ 全身の臓器につながる神経系について学ぶことは、全身管理を習得する上で有利です。
- ◆ 臨床及び基礎研究を通して、洞察力と科学的思考力が備わり、臨床力にさらに磨きがかかります。

具体的な研修内容

研修風景

マイクロサージェリー実習

脳神経外科手術に生来の器用さは要求されません。研修医時代から顕微鏡下で微小血管を吻合する練習や動物実験に励み、自信を持って手術に臨むことは重要です。日頃の努力がものをいう領域です。



ハイブリッド手術室での先端医療

ハイブリッド手術室に設置の多関節型血管撮影装置が装備され、術前、術中血管撮影と血管内治療そして開頭手術との統合が可能となりました。術前塞栓術から開頭摘出術へ、あるいはその逆の移行も可能です。さらに、開頭手術の支援として血管内アプローチの併用も期待できます。



高磁場術中MRIを使用した安全な手術

繊細な脳組織を扱う手術では、各種の支援システムが発達しています。当科では、日本初の可動式高磁場術中MRIが手術室に導入され、特に脳腫瘍では、より安全確実な手術が可能となりました。

